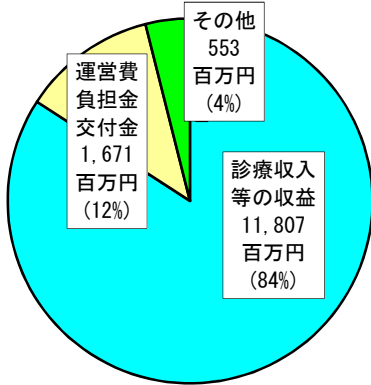


京都市立病院における収益について(平成24年度決算)

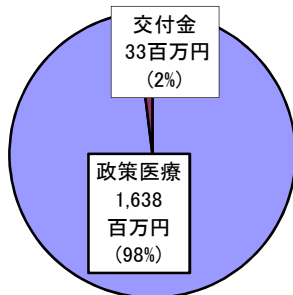
収益の内訳(金額, 割合)



(1) 収益の内訳

市立病院の総収益は140億31百万であり、内訳は、患者からの診療収益118億7百万円(全体の84%)、次いで京都市からの運営費負担金・交付金(いわば市民全体の負担)16億71百万円(全体の12%)などです。患者からの診療収益を主としつつも、京都市からの運営費負担金・交付金によって成り立っています。

京都市からの運営費負担金・交付金内訳(金額, 割合)

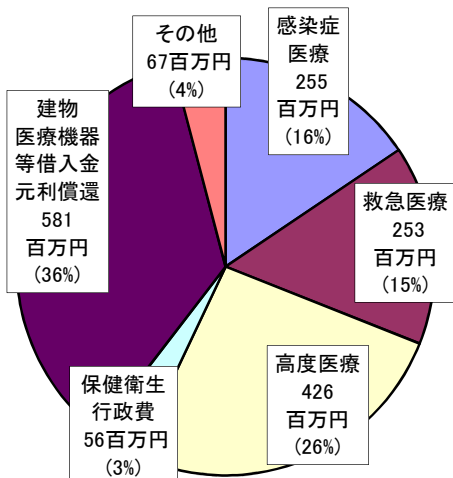


(2) 運営費負担金・交付金の内訳

運営費負担金・交付金の内訳は、「政策医療」分(注)が、16億38百万円で、98%を占めており、次いで、任意の交付金が33百万円、2%となっています。

(注)「政策医療」とは、採算がとれないため、民間の医療機関での提供が困難あるいは不十分となる感染症医療、救急医療などのことです。

政策医療分の内訳(金額, 割合)



(3) 政策医療分の内訳

上記の政策医療分の内訳は、結核などの感染症医療に2億55百万円(16%)、救急医療に2億53百万円(15%)、未熟児医療、がん治療など高度な技能、機械を要する高度医療に4億26百万円(26%)、医療相談等に要する保健衛生行政費に56百万円(3%)、政策医療を行うために建物・医療機器が必要なことから、その費用に充てるための借入金の元利償還金の一部5億81百万円(36%)などとなっています。